

能登半島地震・大雨災害被災地復興支援 チャリティーコンサート

絆音
はん おん



長岡京市少年少女合唱団(指揮 寺嶋智美 ピアノ 八木美春)



混声合唱団アンサンブル・アワーズ
(指揮 栗辻泰史 ピアノ 栗辻紀子)

NATIVE AMERICAN FLUTE

YASUSHI ANATEWASI

栗辻泰史(ネイティブアメリカンフルート)



京都クラウディオ・モンテヴェルディ合唱団 (指揮 當間修一 ピアノ 木下亜子)

出演者・演奏時間等は都合により変更する
場合があります。予めご了承ください。

2026年3月1日(日)

会場 京都文化博物館別館ホール

(京都市中京区三条通り高倉)

	コンサートⅠ	コンサートⅡ
時 間	開場 13:00 開演 13:30 終演 15:30	開場 17:30 開演 18:00 終演 19:30(予定)
出 演	長岡京市少年少女合唱団(指揮 てらしまさとも) 栗辻泰史(ネイティブアメリカンフルート) 混声合唱団アンサンブル・アワーズ(指揮 栗辻泰史)	京都クラウディオ・モンテヴェルディ合唱団 (指揮 當間修一 ピアノ 木下亜子)
入 場 料	前売 一般 2,000 円 小中高生 1,000 円 (当日 500 円 UP) 小学生以下無料	前売 一般 2,000 円 小中高生 1,000 円 (当日 500 円 UP) 小学生以下無料
【Ⅰ・Ⅱ通し券:前売】一般 3,000 円 小中高生 1,500 円 (当日:500 円 UP)		

本コンサートの収益は、開催経費を除いて、被災地支援活動を行っている団体にボランティア活動のための支援金として寄贈いたします。

主催 被災地支援サポートバンク

後援(予定): 京都府・京都府社会福祉協議会
・京都府災害ボランティアセンター

ご予約・お申込み・問い合わせ E-mail: sv.takakuwa@gmail.com TEL 090-1159-5900 (タカクワ)

能登地震・水害被災地支援活動チャリティーコンサート

「絆音(はんおん)」開催にあたって

令和6年元日に大地震と津波に襲われた能登半島。懸命に復興を進めていた同年9月には豪雨が追い打ちをかけるように能登半島を襲いました。多くの方々が避難生活を強いられ、その後2年が経ちます。

現地では、いまだ仮設住宅で生活を送る避難者は多く、再建に向けた取り組みもまだまだ十分とは言えない状況です。

そんな被災地・被災をされた方々にとって大きな力となっているのは、全国から集まったボランティアの活動です。発災以降、家の片づけ・家具の搬出・がれきりの撤去・屋根のシート張りなど様々な活動に多くのボランティアの力が被災地の支援を行って来ました。

また、発災後、時間が経つにつれて人々の心を支えるためのサロン活動も行われています。

私たちはそういった活動を行う「災害ボランティア」を資金面で支援するために、2024年7月13日に第1回目のチャリティーコンサートを開催しました。その後、その仲間たちとともに「継続的な支援」をするために「被災地支援サポートバンク」を立ち上げ、次の2点を目的にチャリティーコンサートを開催し、今回が6回目の開催となります。

ひとつは、現地で今も支援活動が続いているボランティア活動資金の獲得。ボランティア活動とはいえ、活動にお金がかかることは当たり前です。その活動を資金面で下支えすることは、現地に赴いて活動するボランティアたちを支え、ひいては被災された方たちへの支援になります。

もうひとつは被災地の現状を広くお伝えすること。月日が経つにつれてマスコミから流れてくる被災地情報は減り、被災地から離れた地域に生活していると、すでにすべて解決したかのような錯覚さえ持ちます。被災地の方々にとって恐れていることは「忘れ去られること」です。そのために、お伝えする機会を積極的に作ることで一人でも多くの方々に「能登への思い」を継続して持っていただければと考えています。

今回の入場料収入・協賛金は、コンサート開催の必要経費を除いて、今なお被災地支援活動が続いている各種災害ボランティア活動団体に寄付をいたします。一人でも多くの皆様のご来場をお待ちしています。

絆音(はんおん)

「半音(ハンオン)」は音楽用語では、伝統的な西洋音楽における音程の最小単位です。

簡単に言うと、ピアノの白鍵盤と黒鍵盤の音程が半音。

そして半音が二つで全音になります。

その半音と全音が組み合わさって、重なり合って紡ぎだされるのが“音楽”。

音楽は言葉を超えて人の心に様々な感情を与えます。

悲しみをやわらげ、怒りを昇華し、苦しみを癒します。

喜びを分かち合い、そして勇気を奮い起こします。

音楽を人になぞらえてみてください。

様々な人がつながり、重なり、お互いを支えあい、それが“絆”となり生きる力となる。

私たちは、それを“絆音”と名付けました。

Play with heart - one for all, all for one-

Luz Leskowitz (ルッツ・レスコヴィッツ) & 長谷川美沙
(第1回目チャリティーコンサート出演者)

コンサートⅠ出演者

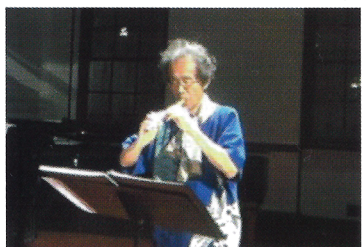
長岡京市少年少女合唱団



1975年結成の老舗少年少女合唱団です。歌が好きな子どもたちが集まって美しいハーモニーを響かせます。合唱を通じて子どもたちの感性を育て、コミュニケーション力を高めます。地域のイベント(ガラシャまつり、パンビオ点灯式、福祉まつり、神足町屋コンサートほか)や合唱祭(京都こども合唱祭、光明寺音楽祭ほか)、施設訪問など、たくさんの活動を通して地域の方々に親しまれ支えて頂き活動しています。学校・学年の違う団員みんなが協力しあい、和気あいあいと楽しく活動しています。(指揮 寺嶋智美 伴奏 八木美香)

栗辻泰史

(ネイティブアメリカンフルート・オカリナ)



京都市立芸術大学音楽学部フルート専攻卒業フルートを白石孝子氏に師事。オカリナ奏者として、2020年イタリアで開催された「国際オカリナ・レイブコンクール」独奏部門において第1位を獲得、2025年第15回下田国際音楽コンクールではネイティブアメリカンフルートで第2位入賞。

混声合唱団アンサンブル・アワーズ



京都市少年合唱団の修了生を中心に結成。近年は自然災害や戦災の犠牲者を追悼する「レクイエム・プロジェクト」の代表を務める作曲家上田益氏の作品を中心に活動が続いている。

(指揮 栗辻泰史 ピアノ 栗辻紀子)

コンサートⅡ出演者

京都クラウディオ・モンテヴェルディ合唱団



バロック音楽の現代的価値を見出して関西を中心に広く活躍する當間修一を音楽監督とし、年2回の演奏会を中心に活動している。演奏活動の中心としてモンテヴェルディの作品を取り上げ、「聖母マリアのタベの祈り」、ミサ曲、マドリガル、モテットを多数演奏、モンテヴェルディの音楽を京都の地に紹介し続けている。

また T. タリス、J.S. バッハ、H. シュッツなど各時代の外国作品、千原英喜、木下牧子などの邦人作品を演奏している。

當間修一の指導する姉妹合唱団と共に、2010年、2017年にイタリアで公演を行い、現地の熱烈な絶賛を博す。

(指揮 當間修一 ピアノ 木下亜子)

チケットのご予約は、右のQRコード(ご予約フォーム)で行うか、もしくは主催者まで電話・メールでお願いいたします。

